



すてい〜る

目次

●特集 第15回定時総会

● 東日本大震災に対する協会としての取り組み	1
● 「第15回定時総会」を開催	3
● 支部だより	8
● 平成22年度「特殊鋼販売技士1級」資格認定式	11
● 青年部会「第11回定時総会」を開催	13
● 理事会・委員会報告	14
● 事務局だより・編集後記	裏表紙



社団法人全日本特殊鋼流通協会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3丁目2番10号(鉄鋼会館)
 TEL.03-3669-2633・2777 FAX.03-3669-0395
 ホームページ <http://www.zentokkyo.or.jp>
 E-mail info@zentokkyo.or.jp

東日本大震災に対する 協会としての取り組み

この度の東日本大震災で被災された方々に心よりのお見舞いを申し上げるとともに、1日も早い復旧をお祈り申し上げます

被災企業にお見舞金を 日本赤十字社に義援金2000万円を寄付

東日本大震災は、3月11日に発生したマグニチュード9.0という東北地方太平洋沖地震やそれに伴って発生した津波等で、東北地方を中心に甚大な被害が発生しました。そこで、当協会としては、被災地の業界の被害状況を把握するため、東北、北関東及び東京支部の会員に対し、被害状況調査を実施しました。

当協会では、東日本大震災の重大性を鑑みて、3月29日(火)に開催された運営委員会及び理事会において、1口1万円、1社1口以上とする義援金を正会員(東北支部を除く)に対し募集し、この義援金を日本赤十字社に寄附すること、また、この大震災で人的被害もしくは物的被害を受けられた正会員に対し、お見舞金として1社10万円をお出しすることが決まりました。

また、5月13日(金)に開催された運営委員会及び理事会において、正会員172社から集まった1852万3092円の義援金に、当協会として147万6908円を拠出し、2000万円とする義援金を日本



赤十字社に寄附すること、また、被災された35社(6社辞退)にお見舞金をお出しすることが決まりました。

竹内誠二会長は、5月31日(火)に日本赤十字社を訪問し、大塚日本赤十字社副社長に2000万円の義援金(目録)をお渡ししました。

また、被災された29社にお見舞金をお出ししております。

この度の震災で被災されました方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復旧をお祈り申し上げます。

会員の皆様方のご厚情とご協力に心より感謝を申し上げます。



■各支部義援金内訳

支部名	社数	金額(円)
東京	51	8,680,000
大阪	68	5,124,528
名古屋	32	3,730,000
東北	1	200,000
北関東	8	400,000
静岡	5	270,000
九州	7	118,564
合計	172	18,523,092

*1 内94,528円はサキタハチメコンサート時義援金

*2 内18,564円ははがねの日のイベント時義援金

復興、安定化へ向けて取り組むべきこと

一方、5月13日(金)に開催された運営委員会において、当協会としても政府が平成11年度から推進しているクールビズを通じた節電及び温暖化防止の取り組みを、5月13日(金)から10月31日(月)までの間に推進することが決まり、会員の方々にご協力をお願いしております。

さらに、経済産業省からの依頼により使用電力の15%削減を目標にした「電気の使用制限についてのお知らせ」と「福島第一原子力発電所事故に伴う風評被害の防止について」を5月11日付で会員に向け文書で発送。その周知・



啓蒙を図りながら、協力をお願いしております。

産業界の動向としては、この7月から全国の自動車メーカーと主要な部品メーカーで土曜日曜に操業し、休日を平日にずらす節電対策が実施されています。また、夜間への操業シフトの動きもあることから、会員各社でも業界周辺の状況を見極めながら操業シフトへの対応も必要に

なってくるでしょう。

今回の震災で改めて実感させられたのは、北関東以北の東日本が日本の“ものづくり”を下支えする一大根拠地だったということです。震災発生からしばらくは、その物流供給の寸断から国内経済と国民生活は大きな影響を受けました。現在、そのサプライチェーンは回復をしつつありますが、その復興とその先の成長には、日本国を挙げた粘り強い支援が重要です。会員企業の皆様の一層のご理解及びご協力を賜りますようお願い申し上げます。



横山東北支部長より全国の皆様へのお礼とあいさつ



この度の東日本大震災では、岩手から千葉までの広範囲で、地震、津波による甚大な被害が発生しました。被害に遭われた皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

東北支部でも、15社から人的・物的を合わせた被害報告を受けました。中には、被災により事業継続を断念された会社もあります。一緒に協会運営にご尽力いただい

ていた企業でしたので、非常に寂しく感じております。さらには、福島第一原発事故の放射能汚染による風評被害や健康不安という問題もあります。事故発生から4か月が経ちましたが、収束まで見えない恐怖との戦いが続くものと思われま

こうした中、全国の協会員ならびに協会より、見舞金と多額の義援金とお寄せいただいたことは、被災地の復興のための大きな力と勇気になります。改めまして、皆様のご厚情に感謝申し上げます。

今後の東北地方の復興は、全特協の枠組みが大きな力になると考えております。一人の知恵では限界があっても、交流により多数が集まって考えれば、よりよい考えが出るはずだからです。今後は、東北支部としての交流・協力体制をさらに緊密・強化していくことはもちろん、全国の皆様からもお借りできる力はお借りして、将来につながるようがんばってまいります。さらなるご支援、ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

「第15回定時総会」を開催



第4次中期計画、および一般社団法人への移行を承認

平成23年6月12日(日)、全特協は静岡県浜松市の「アクトシティ浜松・コンgresセンター」において、第15回定時総会を開催しました。

約80名の出席を得た会場では、冒頭に竹内会長があいさつ(詳細次ページ)。続いて総会審議では、以下の各議案が原案どおり満場一致で承認されました。

- 第1号議案 平成22年度事業報告書(案)承認の件
平成22年度収支決算書(案)承認の件
監査報告書
- 第2号議案 平成23年度事業計画書(案)承認の件
平成23年度収支予算書(案)承認の件
- 第3号議案 第4次中期計画(案)承認の件
- 第4号議案 一般社団法人への移行(案)承認の件
- 第5号議案 新役員選任(案)承認の件

承認された議案のうち「第4次中期計画」では、基本方針を「団体のメリットを活用した事業の実施が可能な支援体制をとること」「会員相互の密接な意見交換・連絡等が行える支援体制をとること」を第3次中期計画から引き継ぐとともに、「特殊鋼業界を取り巻く流通環境の現状・将来等に関する情報を提供すること」「人材育成の強化を図る支援体制をとること」の2項が新たに盛り込まれました。計画実施期間は、本年度から平成25年度までの3カ年です。

公益法人制度改革に伴う当協会の制度改革については、平成25年11月30日までに「一般社団法人」として移行することが承認されました(詳細7ページ)。また、新役員では津田孝良氏(大同アミスター

(株)・代表取締役社長)が理事を退任され、平成22年10月26日(金)に開催された理事会で堀江均氏(大同特殊鋼(株)・常務取締役)が新理事として承認され、本総会でも承認されました。

総会終了後は、沢木順氏による講演会「ミュージカル俳優が語る～好感の持てる話し方・立ち振舞い～」とともに懇談会を開催。翌13日(月)は「JR東海浜松工場」への見学会を行いました。



会長あいさつ

(社)全日本特殊鋼流通協会 会長 竹内誠二

協会としても会員と力を合わせ 東日本大震災の復興に役立つように努めて行く



去る3月11日に発生した東日本大震災では激しい揺れと巨大な津波、そして原発事故と重なり大災害となりました。この震災に遭遇された方々に対し、お見舞い申し上げますと共に一日も早い復旧をお祈り致しております。

全特協として全国の会員の皆様に義援金募集の呼び掛けを致しましたところ、早速1,852万円余の浄財をお寄せ頂きまして、協会としてはこのお金に差額分147万円強を拠出して2,000万円として5月31日に日本赤十字社に届けて参りました。皆様の温かい気持ちが一日も早く被災者の方々に届き、復旧の一助になればと切望致しております。

す。本当にご協力有難う御座いました。また、当協会の会員会社様も被害に遭われたとお聞きしており、ささやかではありますが、協会からお見舞いをお送りしたことを併せてご報告させていただきます。

本総会の議案にも上程されておりますが、第4次中期計画(案)と一般社団法人への移行(案)については、後ほど、専務理事の方から詳細な説明があるかと思えます。特に、一般社団法人への移行につきましては、期限の制約もあり当協会にとっても決めなければならぬ案件でございますので、ご審議賜りたくお願い申し上げます。

それから当協会事業の大きな柱の一つである人材育成事業ですが、監督官庁である経済産業省製造産業局鉄鋼課からも、強い関心を持って側面からご支援頂いております。景気不透明な中にもかかわらず、平成22年度で特殊鋼販売技士1～3級の合格者733名、昨年から実施している入門編では194名の方々に受講して頂いております。更には、特殊鋼販売加工技士研修の基礎編で161名の方が受講されています。最近、会員会社にとどまらず異業種の



企業からも問い合わせが増えていると聞いております。明日を担う若手社員が特殊鋼に目を向けて頂けるのは誠に喜ばしいことだと思っております。

この度の3.11東日本大震災は、我々日本人に与えられた国難と言ってもいいでしょう。ここ200年間での国難と言えば、江戸末期から明治維新の激動期、そして第2次世界大戦の敗戦で多くの物を失った時期でした。大地震と大津波は時間と共に復旧していくと思えますが、福島第一原子力発電所の被災は深刻です。世界最大級のチェルノブイリ事故に匹敵する災害となりました。物的の被害、見えぬ放射能による風評を含め、甚大な被害が出ています。そして未だに事故処理に追われています。この結果、世界のエネルギー政策も大きく変わって行くと思えます。また、災害に見舞われながらも、我慢強く粘り強い、そして秩序ある行動をする日本人が、海外のメディアからも称賛されています。これほど、日本国・日本人が世界に大きく影響を与えることを自覚して、それぞれ日本人が自信を深め、真摯さを失うことなく物事に当たれば、必ずや過去の国難と同様に克服できます。当協会としても会員皆様と力を合わせ3.11東日本大震災の復興に役立つように努めて行く所存です。



講演会・懇談会

「ミュージカル俳優が語る～好感の持てる話し方・立ち振舞い～」



【沢木順氏プロフィール】

北海道生まれ、鎌倉育ち。早稲田大学で演劇を学び、在学中に東宝ミュージカル「ファンタスティックス」で主役デビュー。「マイフェアレディ」「ラマンチャの男」「屋根の上のバイオリン弾き」などに出演し、1975年に劇団四季に入団。現在はフリーオフィス・サワキ所属。主な出演は「オペラ座の怪人」怪人役、「美女と野獣」野獣役、「ジーザス・クライスト＝スーパースター」ユダ役、「キャッツ」プレイボーイの猫役など多数。今年8月にはスコットランドのエジンバラでソロミュージカル「ロートレック」を上演予定。御尊父は「あざみの歌」「さくら貝の歌」などで知られる作曲家の八洲秀章氏。

総会終了後は、劇団四季など国内外の公演でご活躍される、沢木順氏による講演会「ミュージカル俳優が語る～好感の持てる話し方・立ち振舞い～」を開催しました。

名古屋・静岡両支部が共同で企画・設営に当たった今回の講演会・懇談会は、熊谷多津旺名古屋支部長(クマガイ特殊鋼(株)・代表取締役)の乾杯発声で開幕。会食とともにしばしの歓談が行われ、日中の総会の緊張感もほぐれ、和やかなムードとなったところを見はからい華々しく沢木氏が登壇しました。

ミュージカルスターらしく舞台いっぱいを動き回る沢木氏の講演は、過去の出演作の解説からミュージカルナンバーも披露されるトークショー形式。聴衆参加の趣向も凝らされ、沢木氏直々に歌のレッスンをさせていただくという一幕もありました。また、沢木氏の演劇的観点から効果的な話術や美しく颯爽とした姿勢の取り方もアドバイス。さらには、年齢を重ねても体型を



(左上)冒頭、乾杯発声であいさつする熊谷名古屋支部長
(上右)歌の指導では各支部から代表が登場。東京支部からは竹内会長が自慢ののどを披露
(下)「情感を込め、体をいっぱい使うと歌はうまくなる」と実践しながら指導する沢木氏

維持するためのエクササイズの秘訣なども伝授され、ビジネスから日常生活まで役立つヒントの多い講演でした。

エンターテインメント色豊かに会場一体となって盛り上がった後の中締めは、原博康静岡支部長(東泉鋼機(株)・代表取締役社長)が登場。「せっかくですから1曲歌わせていただきます」と前

置きした後、シャボン玉(唱歌)を熱唱。「今回の大災害で七色に輝く楽しい美しい日常がシャボン玉のように壊れてしまいました。静岡県も30年以内に87%の確率によって東海大地震が起こるといわれています。それでも、私たちは生きていかなければなりません。「風、風、吹くな」と、祈るように日常を生き、シャボン玉を飛ばさなければいけません」とあいさつ。明るく元気な日常を取り戻すための決意も高らかに、会場一丸となった盛大な三本締めで締めくくりました。



(上)中締めであいさつに立った原静岡支部長
(下)盛大な三本締めで散会となった

工場見学会 ～東海旅客鉄道浜松工場～



▲特殊鋼関係者にも興味深く、鉄道マニアにはさらに興味深い見学会となった

鉄道院時代からの歴史ある車両工場 デゴイチなど蒸気機関車の製造も

定時総会翌日の6月13日(月)には、34名が参加して東海旅客鉄道(JR東海)浜松工場の見学会を行いました。

同工場は、1912(大正元)年に開設された歴史のある車両工場で、C51型やD51型などわが国の鉄道史を彩る蒸気機関車を新製した有力工場のひとつです。太平洋戦争中には海岸線から約4kmと近いことから、数次におよぶ艦砲射撃を受け、現在も工場内にはそのときの弾痕が残っているほどです。

JR東海の新幹線すべてを点検整備 日本の交通中枢の安全を守る工場

1965(昭和40)年からは新幹線車両の

全般検査を開始し、2008(平成20)年には新幹線全般検査3万両を達成するなど、JR東海が所有するすべての新幹線車両の全般検査およびATC特性などの重要検査を行っています。

全般検査とは、車両のすべての機器を取り外し、詳細に調べる検査のことで、定期検査としては最も大掛かりなものになります。新幹線の場合、36か月または走行120万kmの検査サイクルに達した車両は1編成ごと浜松工場に持ち込まれ、約2週間をかけて内外の再塗装なども含めた徹底的な検査とリフレッシュが施されます。

見学当日も、3編成の新幹線車両が持ち込まれ、ジャッキアップされて台車を取り外されるなど、普段走行中の



新幹線では見られないスケールの大きな作業に見学者一同からは歓声の上がる場面も。そして、参加者の多くが興味を示したのは、やはり台車周りのシャフトや機器類、車輪などという部品類でした。特殊鋼や一般鋼材も使用されているそれらパーツが、1点ごとに分解されて検査・清掃されている作業場では、足をとどめる時間も長く、案内者への質問も多くなりました。

安全性を確保する検査だけでなく、ポリカーボネート製窓の美観を損ねる小さなクラックも見逃さない体制や、すべてのシートが取り外され張り替えられるなど、安全とともに快適さへの追求にも妥協のない新幹線事業の内幕を実感できた見学会となりました。



▲管理棟エントランス前で記念撮影

第4次中期計画

特殊鋼流通の環境変化を踏まえての特別調査 研修講座の平準化とビジュアル化を

第15回定時総会で承認された「第4次中期計画」について、詳細を以下のとおりご報告します。

■基本方針

1. 団体のメリットを活用した事業の実施が可能な支援体制をとること
2. 会員相互の密接な意見交換・連絡等が行える支援体制をとること
3. 特殊鋼業界を取り巻く流通環境の現状・将来等に関する情報を提供すること
4. 人材育成の強化を図る支援体制をとること

上記1、2は第3次中期計画から引き続き実施されるもので、3、4が今回新たに盛り込まれ、特に3の情報提供が第4次中期計画の大きな特徴となっています。基本方針を踏まえ、実施される主な事業は次のとおりです。

■主な事業内容

1. 特殊鋼販売技士制度研修講座内容の平準化とビジュアル化を図る
2. 特殊鋼流通環境の変化に対する特別調査を検討・実施する
3. 「はがねの日」の制定記念事業の認識向上事業を積極的に実施する
4. 賛助会員との交流を積極的に図る

以上、第4次中期計画は本年度から平成25年度までの3か年が実施期間となります。協会員の皆様のご協力並びにご指導、ご鞭撻を賜りたくお願い申し上げます。

一般社団法人への移行について

第15回定時総会で承認された「一般社団法人への移行」について、下記のとおりご報告します。

■公益法人制度改革の目的および経緯

民間が担う公益を我が国の経済社会システムの中に積極的に位置付けること、公益法人について指摘されている諸問題に適切に対処することの観点から、制度を抜本的に見直すため、公益法人制度改革関連法が、平成18年5月26日に成立、平成20年12月1日から施行されました。当協会は、公益法人制度改革関連法に基づき「一般社団法人」若しくは「公益社団法人」に移行することになりました。

■一般社団法人への選択

総会では、定款の目的、実施している事業内容、公益法人の認定基準、法人の自主性、自立的な運営等を総合的に判断した結果、一般社団法人への選択が承認されました。

■新制度への移行期間

当協会は、平成20年12月1日から平成25年11月30日までの5年間の移行期間は、特例社団法人として存続できるものの、平成25年11月30日までに一般社団法人に移行する必要があります。

■今後の予定

今後、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律等に適合する定款変更案、公益目的支出計画案等を作成し、総会の承認を得て、一般社団法人への移行認可申請を内閣府に行う予定です。

支部だより

支部総会開催

東京支部 開催日時：6月24日(金) 開催場所：東京銀行協会「銀行倶楽部」 出席者：72社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- ①平成22年度事業報告書(案)・収支決算書(案)
- ②平成23年度事業計画書(案)・収支予算書(案)
- ③東京支部役員選任(案) ※副支部長兼総務部会長に北島陽二郎(石原鋼鉄(株)・代表取締役社長)氏、内外交流部会副部会長に今西清裕(伊藤忠丸紅特殊鋼(株)・代表取締役社長)氏、調査研究部会副部会長に北信一(大洋商事(株)・常務取締役)氏が新任された。



総会終了後の懇談会で湊支部長は「7月予定の賛助会員との交流会は節電を鑑みて中止となったが、10月のオール関東親善ゴルフ大会に賛助会員1社1名を招待することにした。震災の影響で延期となった諸行事も、この秋に続々と開催の運びとなっているので奮ってご参加いただきたい」と案内。続いてあいさつに立った竹内会長は「震災直後から4月までの期間は景気の落ち込みが目立ったが、ここにきてサプライチェーンも改善されつつあり、特に自動車関連は生産の遅れた分を取り戻そうと100%以上の伸びが伝えられている」と、夏以降の景況回復に大きな期待を寄せた。乾杯発声では三上顧問が「この先も節電や円高、税制の問題など懸念材料はあるが、こんなときだからこそ全特協として時期適切な事業を行う必要がある」と出席者に呼びかけ、「がんばろう特殊鋼!」の声高らかに乾杯。終始、活気にあふれた懇談会は宮地人材育成部会長の三本締めで中締めとなった。

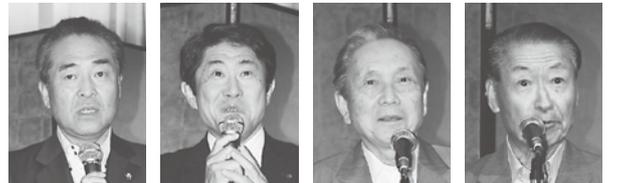


大阪支部 開催日時：6月16日(木) 開催場所：ヒルトン大阪 出席者：106社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- ①平成22年度事業報告・決算決算
- ②平成23年度事業計画(案)・収支予算(案)
- ③大阪支部会員異動

総会後は正会員51名、賛助会員22名が参加した懇親会を開催。福原支部長は「今回の震災の影響で世界中のものづくりが止まった。東北で国内外の重要な部品を作っていたことを改めて気づかされた。生産拠点の海外シフトが進む中、心臓部すべてが出ているわけではなく心強く感じた」などあいさつ。来賓を代表された柴山博之・山陽特殊製鋼(株)大阪支店長は「リーマン・ショック後の回復基調での大震災は大きな衝撃だったが、日本の企業は3か月で生産設備を回復し、震災前水準に戻るまでになった。まさに日本の底力を世界に見せつけたのではないかとあいさつ。続いて久木田一成顧問が「今年は全特協の前身であるハガネ商組合が大特販になって60周年。特殊鋼流通の頑張りや発展は大変なものだ」と述べて乾杯の発声。中締めでは樋口克彦副会長が「かつてない困難からかつてない革新が生まれる。かつてない革新からかつてない飛躍が生まれる」という松下幸之助の言葉を引き、三本締めを行った。



名古屋支部 開催日時：6月12日(日) 開催場所：アクトシティ浜松コンgresセンター 出席者：39社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- ①平成22年度事業報告・決算報告
- ②平成23年度事業計画(案)・収支予算(案)
- ③名古屋支部役員および運営委員選任

冒頭、熊谷支部長は「3月には未曾有の大震災があり、今後の経済情勢は不透明一色にある。皆様には心してこの困難を乗り越えていただきたい」などとあいさつ。続いて、本部から出席した桑原専務理事が、東日本大震災に関する義援金や正会員被災企業に対するお見舞金の報告をし、一般社団法人移行に関する説明を行った。



東北支部

開催日時：6月24日(金)

開催場所：天童温泉 天童ホテル

出席者：25社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- ①平成22年度事業報告書(案)・収支決算書(案)
- ②平成23年度事業計画書(案)・収支予算書(案)

森副支部長の開会の辞、「東北の復旧・復興は今後さまざまな形で出てくるだろうが、全特協の交流による大きな知恵が大きな力になるはず」という横山支部長のあいさつの後、総会に進んだ。全員一致で決議がなされ、森副支部長により閉会した。



北関東支部

開催日時：6月19日(日)

開催場所：りんどう湖ロイヤルホテル

出席者：27社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- ①平成22年度事業報告書(案)・収支決算書(案)
- ②平成23年度事業計画書(案)・収支予算書(案)

長谷川副支部長のあいさつにて開会。宮内支部長のあいさつ、桑原専務より本部報告の後、総会へと進み、全員賛成のもと決議がなされた。鈴木副支部長による閉会の後、桑原専務より一般法人化に向けての説明がなされ、続いて行われた懇親会には、大同特殊鋼(株)の越川室長、日本高周波鋼業(株)の油谷所長が出席された。



静岡支部

開催日時：6月24日(金)

開催場所：静岡グランドホテル中島屋

出席者：17社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- ①平成22年度事業報告書(案)・収支決算書(案)
- ②平成23年度事業計画書(案)・収支予算書(案)

三上副支部長のあいさつにて開会。議長選出も原支部長にて議事進行、つつがなく賛成決議され、三上副支部長のあいさつで閉会した。総会後の懇親会は、原支部長あいさつ、大同特殊鋼(株)の大畑様の乾杯のご発声で和やかに歓談が進み、山浦支部運営委員による中締めで散会した。



九州支部

開催日時：6月24日(金)

開催場所：ホテルセンターザ博多

出席者：17社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- ①平成22年度活動報告書(案)・決算報告書(案)
- ②平成23年度活動計画書(案)・予算審議書(案)
- ③支部規定(案)

岡田支部長が進行役・議長で総会が進められ、全員賛成のもと決議がなされた。総会後は特殊鋼販売技士1級の認定式行われ、支部長より合格者に認定証書が手渡された。認定式終了後、懇談会および祝賀会が同時に行われ、左運営委員の中締めで和やかな内に閉会となった。



「はがねの日」記念行事——「はがねの日」イベントレポート——

東京支部 7月2日(土) 第57回オール関東特殊鋼親善野球大会 於：明治神宮外苑軟式野球場 参加者：約450名

例年4月初旬に行われる恒例の大会も、今年は震災の影響により延期。順延となった大会に、2つの新チームを加えた16チームが参加し、真夏の空の下、熱戦を繰り広げた。当日は1・2回戦12試合を開催。その結果、(株)平井、三興鋼材(株)、日立金属工具鋼(株)、伊藤忠丸紅特殊鋼(株)が4強に勝ち名乗りを上げ、7月23日(土)の準決勝・決勝で栄冠を争うことになった。



[1回戦試合結果]

UEX6-4日立金属アドメット、平井6-4青山特殊鋼、清水鋼鐵4-3ヤマト特殊鋼、三興鋼材10-2大洋商事、野村鋼機9-6東海鋼鐵、日立金属工具鋼7-1石原鋼鉄、伊藤忠丸紅特殊鋼13-2岡谷鋼機、下村特殊精工18-0藤田商事

[2回戦試合結果]

平井10-0UEX、三興鋼材13-10清水鋼鐵、日立金属工具鋼18-0野村鋼機、伊藤忠丸紅特殊鋼11-0下村特殊精工

※4/15に開催予定だった第7回ボウリング大会は、震災の影響で11/2(金)に延期となりました。



大阪支部 4月16日(土) サキタハヂメ氏コンサート 於：大阪市中央公会堂

入場者：約900名

「はがねの日」制定記念事業の認識向上を積極的に実施する目的で、「サキタハヂメ のごぎり音楽ファミリーコンサート」を開催した。会場は正会員、賛助会員の家族やその関係者で満席の状態に。サキタ氏とその仲間たち(えぐちひろし、山下憲治、石川まぎ、池田安友子)が、透明感があって繊細な音色ののごぎり音楽を奏でた。また、ゲストにはサキタ氏が師と仰ぐ、横山ホットブラザーズと都家歌六が出演。軽妙でコミカルな漫談とかけ合いも楽しめるコンサートとなった。



名古屋支部 4月23日(土) サキタハヂメ氏のごぎりコンサート 於：ミッドランドスクエア B1アトリウム

入場者：合計1200名強

のごぎりコンサートも3回目となる今回は、これまでの松坂屋ではなく、名古屋駅前のミッドランドで開催した。佐橋総務部会長が「全特協を紹介させていただきます。特殊鋼をご存知ですか？鉄に特殊な合金元素を加え、鉄より強く、しなやかに、錆びにくくしたのが特殊鋼です。自動車部品、ロケット部品…今日の演奏に使うのごぎりも特殊鋼で出来ています。」と特殊鋼をPRしながら挨拶。演奏会は、3回(13時～、15時～、17時～：各回40分)行なわれ、爽やかな空に羽を広げて飛んで行くイメージで作られた全特協テーマ曲「翼～Steel Fantasy～」を含め7曲が披露された。観客は、吹き抜けの上階にもあふれ、皆、のごぎりの奏でる音色に聞き入っていた。各回230部用意した「クリアファイル+特殊鋼WORLD」は、演奏開始後瞬間に無くなり、演奏後の抽選による記念品(特殊鋼で出来たもの)も好評で、大盛況の内に終えた。



北関東支部 4月23日(土) ボーリング大会 於：栃木県佐野市 両毛ゴールドレーン

参加者：56名

[成績]2ゲームトータルピン数 (女性はH.C.あり)

成績		トータル
優勝	洪水 幸男(小山鋼材(株))	325ピン
準優勝	川崎 実(日立金属工具鋼(株))	322ピン
3位	生田 裕一(日立金属工具鋼(株))	320ピン

支部長のあいさつの後、競技説明につづいて開催。1～3位が5ピン差以内にひしめく、接戦となった。競技終了後、軽食を取りながら表彰式が執り行われた。毎年増える参加人数も56名に達し、大変盛り上がった大会となった。



九州支部 4月17日(日) 清掃活動・野球観戦

参加者：95名

当日は、好天にも恵まれ過去最大の95名の参加者で、例年どおり福岡市百道(モモチ)地区の清掃活動を行った。また、参加者有志で東北地方震災義援金を呼びかけ、合計18,564円の募金が集まった。

清掃後の野球観戦(ホークスVSライオンズ)は手に汗握る熱戦になり、最後はホークスがサヨナラホームランで勝利を収め、花火も堪能して有意義な時間を過ごせた。



平成22年度 「特殊鋼販売技士1級」資格認定式



全特協では平成23年5月13日(金)、東京・鉄鋼会館において特殊鋼販売技士1級の資格認定式を開催しました。今回、新たに認定された有資格者は260名(東京支部67名・大阪支部85名・名古屋支部70名・静岡支部6名・九州支部32名)で、特殊鋼販売技士1～3級と特殊鋼販売加工技士と合わせた累計有資格者数は1万7823名となりました。

合格者35名が出席した認定式では、(株)ハヤカワカンパニーの石橋佐知子さん(東京)、(株)メタルワン特殊鋼の今倉勢剛さん(大阪)、小山鋼材(株)の乙部活雄さん(名古屋)、ノボル鋼鉄(株)の六瀬真奈美さん(静岡)、井上特殊鋼(株)の測上健一さん(九州)が各支部を代表して竹内会長より資格認定証を授与され、(株)平井

の八木原大輔さんが全員を代表して答辞を述べられました。

認定式終了後は、8日間計19時間におよぶ受講の結果、猛勉強の甲斐あり、みごと資格取得を果たした合格者を称えねぎらうための祝賀懇談会を開催。会社や業界のためはもちろん、さらなる研鑽を積み社会に貢献できる特殊鋼人になろうと、より一層の向上を誓い合いました。

ご来賓祝辞



経済産業省製造産業局鉄鋼課長
小糸 正樹 様

全特協では長年にわたり多数の資格取得者を育成され、全国津々浦々で活躍。日本の鉄鋼産業の発展に大きな貢献をされていると承知しています。今回の大震災で被害を受けた産業界の中でも、特殊鋼を中心とした鉄鋼産業はいち早くサプライチェーンをつないで立ち直ったようにお見受けします。こうした、強いサプライチェーンや“ものづくり”という、日本の競争力の一端を支えるのが今日合格された皆様です。ぜひそうした自覚と誇りをもって、これからも研鑽を積んでください。

会長あいさつ



(社)全日本特殊鋼流通協会
会長 竹内 誠二

1975(昭和50)年に「責任」「自覚」「信用」という3つの理念を柱にこの制度が始まって今年で36年。1～3級の有資格者数は述べ1万4,839名で、1級はなんと2,891名という人数になっています。今、皆様はその頂点に立ったわけですが、室町時代の能の大家・世阿弥の言葉にもあるとおり「初心忘るべからず」の精神を大切に、身につけた知識を活かし、ご自身のため会社のため、さらには業界の発展、社会に役立てられることを願います。

答辞



資格取得者代表
(株)平井 八木原大輔

私たちがこうして無事に認定式に参加させて頂いている今も、被災により苦しめられている方々があります。このような状況だからこそ、私たちは精一杯業務に励み、日本を活性化させていかなければならないと考えております。そのためにも、お客様と密に情報交換し、先んじてお客様のニーズにお応えできるよう努力するとともに、今回の講義で学んだ知識を礎に、より高い知識を身につけ、新しい商品をご提案できるよう、励んで参ります。

飯久保知人 検定試験委員長 講評



試験問題は、かなり高レベルなので、合格された方は自信をもっていただきたい。ただ、特殊鋼に関する知識は3級から1級まで研修してきて身につけているが、実際の業務で問題に当たったときの対応力や応用力とはまた別。これを契機に実務経験を積みながら努力してください。

祝賀懇談会あいさつ



人材育成委員会委員長でもある佐久間貞介副会長(佐久間特殊鋼(株)・取締役社長)は「この資格制度をよりよいものにするため、内容について数年前から改革を進めている。今回の講義や試験を通じて改善点などお気づきの点があれば、ぜひご意見をいただきたい」と呼びかけました。

中締めでは樋口克彦副会長((株)天彦産業・会長)が「海外ではローカルの流通の存在感が非常に高い。本日、多くの若い方々が資格を得られたが、日本の流通業もどうやって存在感を高めていくのか、これからの特殊鋼流通の未来像を一緒に考えていただきたい」とあいさつしました。

平成22年度 特殊鋼販売技士1級合格者名簿

■平成22年度特殊鋼販売技士1級検定試験
 実施日：平成23年3月24日(木)
 13:30～15:30
 実施支部：東京・大阪・名古屋・静岡・九州

支部名	受験者数	合格者数
東京	86	67
大阪	89	85
名古屋	98	70
静岡	8	6
九州	32	32
合計	313	260

成績優良者：3名

(東京支部)

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼)

石橋佐知子 (株)ハヤカワカンパニー

八木原大輔 (株)平井

今泉桂次郎 (株)ファインスティールエンジニアリング

平成22年度 特殊鋼販売技士1級 合格者名簿

東京支部

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼)

合格者39名

磯貝 健介 浅井産業(株)
 戸上 大輔 井上特殊鋼(株)
 岩壁 佳久
 松本 博明
 川口 将広
 関澤 理恵
 大野 孝昌
 鈴木 倫人 合同製鐵(株)
 山本 健介 山陽特殊製鋼(株)
 村上 堯
 糸谷 知紗
 菅原 美佳
 古賀絵美子
 小倉 孝文
 齋藤 優 城北伸鉄(株)
 鈴木 信篤 (株)鈴木鋼商店
 大島 陽子 大同特殊鋼(株)
 浅野 光章 (株)大同分析リサーチ
 根本あかり 大洋商事(株)
 大平 勉
 茂木 雅和
 茂嶋 博之
 藤井 自歩 中川特殊鋼(株)
 友重満美子
 熊谷 成 野村鋼機(株)
 石橋佐知子 (株)ハヤカワカンパニー
 池田 俊 阪和興業(株)
 五十嵐健人
 石丸 徹 (株)平井
 八木原大輔
 平井 智也
 今泉龍太郎 (株)ファインスティールエンジニアリング
 今泉桂次郎
 田中 和義
 程田 博紀 藤田商事(株)
 神居 祐亮
 小峯 秀明
 斎藤 俊之
 趙 慶恩 三菱製鋼(株)

Bグループ(工具鋼・軸受鋼)

合格者8名

谷口 太郎 青山特殊鋼(株)
 徳永 雄也 浅井産業(株)
 藤原 信哉 ウッデホルム(株)
 加藤 道郎 大同マテックス(株)
 酒井 俊介 日立金属(株)
 長濱 弘樹
 森田 秀憲
 園上 雅樹 森田金属工業(株)

Cグループ(ステンレス鋼・耐熱鋼)

合格者20名

古市 勇太 池垣冷鋼(株)
 藤沢 正人 (株)UEX

寺田 弥太郎
 藤木 秀彦 岡谷鋼機(株)
 前田 高輔 山陽特殊製鋼(株)
 平賀 武夫 下村特殊精工(株)
 江澤 功二
 岡田 逸臣
 石橋 正憲
 飯嶋 恵一
 杉浦 健男 (株)杉浦商店
 山下 直樹 大同興業(株)
 森田 康仁
 栗村 裕美 大同特殊鋼(株)
 中島 彰
 大畑 秀司
 雨谷 文之 日本高周波鋼業(株)
 村田 祐一
 安藤 聡
 片野 知純 藤田商事(株)

大阪支部

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼)

合格者52名

仲宗根勇仁 青山特殊鋼(株)
 林 祐輔 井上特殊鋼(株)
 榎谷 興介
 遠藤 誠
 神保 翔
 中橋 直之
 松見 和弥
 今泉 洋佑
 鴨川 智世
 市川 裕之
 辰己 豪樹
 中村 勝 カネヒラ鉄鋼(株)
 小西 晃平
 平井 淳
 亀田 修一 北島鋼材(株)
 岡田 昭彦 京都磨鋼材(株)
 大山 拓人 櫻井鋼鉄(株)
 大山 世倅
 河南 陽一 三利特殊鋼(株)
 桐 淳志 JFE商事(株)
 松野 真
 坂 陽子 住金物産特殊鋼(株)
 小林 励 住商特殊鋼(株)
 春出 正樹
 小西 翔太 大同興業(株)
 東 耕作 大同特殊鋼(株)
 石井 久理 太平鋼材工業(株)
 藤川 洋平
 廣田 浩佑 大洋商事(株)
 金子 幸文
 矢野 洋祐 辰巳屋興業(株)
 杉本 大輔
 岩本 英斗 中川特殊鋼(株)
 福井 和樹 白鷺特殊鋼(株)
 仲明
 本多 孝典
 安東 亮平 林田特殊鋼材(株)
 松本 晃全
 三浦亜依子
 水本 和宏 (株)阪神メタリックス
 多田 祐一
 西本 圭吾
 守屋 隆介
 良知 真彦
 中村 誠一 (株)堀田ハガネ
 森 崇博
 原 一英 三井物産スチール(株)
 藤原 洋
 七里 洋平 (株)メタルワン特殊鋼
 朝井喜太郎
 今倉 勢剛
 竹村 仁志 山野鋼材(株)

Bグループ(工具鋼・軸受鋼)

合格者16名

瀬尾千亜紀 ウッデホルム(株)
 山根 大弥 ウメトク(株)
 松元 正臣
 中村 友紀 大阪ミガキ(株)
 阿南 賢一 岡谷鋼機(株)
 林 広則 加藤鋼材(株)
 中村 高志 佐々木鋼業(株)
 沼端 力 三和特殊鋼(株)

Cグループ(ステンレス鋼・耐熱鋼)

合格者16名

山根 大弥 ウメトク(株)
 松元 正臣
 中村 友紀 大阪ミガキ(株)
 阿南 賢一 岡谷鋼機(株)
 林 広則 加藤鋼材(株)
 中村 高志 佐々木鋼業(株)
 沼端 力 三和特殊鋼(株)

澤井 賢 大同興業(株)
 林 直子 日本高周波鋼業(株)
 柴崎 剛文 日立金属(株)
 津守 秀樹 日立金属アドメット(株)
 岡 直毅 日立金属工具鋼(株)
 松本 央胤 (株)メタルワン特殊鋼
 井上 基靖 菱光特殊鋼(株)
 宮内 一幸

Cグループ(ステンレス鋼・耐熱鋼)

合格者17名

藤谷 潔 青山特殊鋼(株)
 江田 英明
 赤松実之和 伊勢鋼材(株)
 浮田 雅昭 ウメトク(株)
 山本 直樹 大阪ミガキ(株)
 北村 裕介 岡谷鋼機(株)
 川元 喜弘 カネヒラ鉄鋼(株)
 鈴木 貴弘 鈴木鍛鋼(株)
 西園 俊也 大同興業(株)
 尾川 慶三
 金子 佳玄
 小笠原 健
 馬場 祐作 辰巳屋興業(株)
 浦岡 英夫 松井鋼材(株)
 岩田 隆
 齋藤 仁志 三井物産スチール(株)
 秋庭 恭史

名古屋支部

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼)

合格者32名

荒谷 晃宏 愛鋼(株)
 竹内 淳
 国原 章功 愛知製鋼(株)
 榎原 一哉
 堀崎 雄太
 前島 宅臣
 松尾康史郎
 吉丸 崇
 森井 涉 浅井産業(株)
 山田 貴裕
 岸下 史嗣 井上特殊鋼(株)
 長田 義喜 大阪ミガキ(株)
 五十嵐清高
 渡邊 順平 岡谷鋼機(株)
 田中 祐二 (株)岡谷特殊鋼センター
 伊佐治 勝 小木管工業(株)
 竹内 麻野
 川瀬 規彰 川本鋼材(株)
 水野 真一
 福田 敏彦 (株)交邦磨棒鋼センター
 田中 久嶋 勝美
 伊藤 豊 櫻井興産(株)
 小川 洋右 (株)三悦
 近藤 貴明
 岡田真一郎 JFE商事(株)
 大橋 大祐 鈴木精鋼(株)
 木村 健一 大同興業(株)
 田中 伸明
 大森 弘士 大同特殊鋼(株)
 水野 博仁
 石床 貴司 阪和興業(株)
 久野 亮平

Bグループ(工具鋼・軸受鋼)

合格者30名

尾藤 暁彦 石原鋼鉄(株)
 山本 隆司
 森 広満 ウメトク(株)
 安福 圭介
 渡辺慎一郎
 中西 隆裕 (株)カムス
 清水 淳 グリーンスチール(株)
 長岡太郎
 佐藤 光政 高周波精密(株)
 辻 正雄 小山鋼材(株)
 乙部 活雄
 近藤 吉行 (資)近藤ハガネ商店
 岡村 靖朗 (株)三悦
 水谷 洋敏
 鎌水 敦司 大同興業(株)
 上田 政良 (株)大同分析リサーチ
 高木 智英 (株)タカギスチール
 飯島 貴之 孟鋼鉄(株)

小林 真尚
 小松 智美
 鈴木 朋成 名古屋特殊鋼(株)
 齋藤 高嗣
 伊達 直也
 森 茂洋
 齋野 敦司
 朝比 隆行 日立金属アドメット(株)
 勝原 隆太
 高松 健 (株)マクスコーポレーション
 山根 康平 松岡特殊鋼(株)
 福田 崇英

Cグループ(ステンレス鋼・耐熱鋼)

合格者8名

岩佐 達 佐久間特殊鋼(株)
 権田 陽英
 遠藤 勝大 下村特殊精工(株)
 三根 大介 大同興業(株)
 中野 博之 大同特殊鋼(株)
 阿部 雄治 (株)大同分析リサーチ
 田中 圭
 水野 真義 大同特殊鋼(株)

静岡支部

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼)

合格者4名

渡辺 孝 小林鋼材(株)
 山縣 秀隆 ノボル鋼鉄(株)
 六瀬真奈美
 加藤 貴志 (株)平井

Bグループ(工具鋼・軸受鋼)

合格者2名

原 雅俊 東京鋼機(株)
 齋藤 卓人 ノボル鋼鉄(株)

九州支部

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼)

合格者23名

井上 武広 井上特殊鋼(株)
 洲本 健一
 井上 雅洋
 石原 晋己
 山本 剛士
 杉原 徹
 石橋 玲規
 山本 徹
 高瀬 泰隆
 矢野 俊隆
 福田 浩士 ウメトク(株)
 遠藤かつ子 (株)ケイ.エス.スチール
 古賀 靖章 佐藤商事(株)
 秋吉 和典 大洋商事(株)
 堀 健太郎
 浦塚 卓矢
 中村 龍二
 一瀬 勇希
 金 春実
 菊池 亮 白鷺特殊鋼(株)
 山内 健
 桐島 久志 陽鋼物産(株)
 大原 健太 (株)メタルワン特殊鋼

Bグループ(工具鋼・軸受鋼)

合格者6名

川本 祥貴 ウメトク(株)
 池尻 国博 扇鋼材(株)
 林 健太郎 清水金属(株)
 中野 茂幸 大同特殊鋼(株)
 松岡 親生 日立金属工具鋼(株)
 尾崎 一英

Cグループ(ステンレス鋼・耐熱鋼)

合格者3名

木下 行美 ウメトク(株)
 欽崎 公彦
 小林 直樹 陽鋼物産(株)

青年部会「第11回定時総会」を開催

新部会長に久木田氏を選出! 情報発信力を高め協会運営に貢献できる部会を目指す

平成23年6月17日(金)、青年部会は大阪市北区のヒルトン大阪で25名の参加を得て、第11回の定時総会を開催しました。

冒頭、碓井達郎部会長(碓井鋼材(株)・代表取締役)は、「前年度は多彩な活動が行えた。残念ながら3月以降は震災による影響もあったが、皆様の多大なるご協力で1年間無事に終わったという感がある。この2年間、すべての部会員のおかげで微力ながら部会会長の努めを終えることができた。今後、将来に向けて青年部会がさらに飛躍できることを祈念します」とあいさつ。

総会審議では、「平成22年度事業報告および収支報告」「平成23年度事業計画(案)および収支予算(案)」がそれぞれ承認され、運営委員については碓井達郎氏と浅野薫仁氏(浅野鋼材(株)・常務取締役)、小林卓司氏(テー・ビー

ケー(株)・代表取締役)の3名が退任。林田彰司氏(林田特殊鋼材(株)・代表取締役)が新運営委員として承認されました。

続いて行われた第18回運営委員会では、正副部会長選任が審議され、新部会長に久木田至氏(櫻井鋼鉄(株)・代表取締役社長)が、新副部会長に田嶋直氏((株)鉄鋼社・代表取締役社長)と藤田剛義氏(藤田商事(株)・専務取締役)が選出されました。その他の副部会長は、山田雅郎氏((株)ヤマコー・代表取締役)が退任されたほかは再任となっています。

総会終了後は、和歌山大学教授の足立基浩氏を講師に招き、「東日本大震災における経済的な影響や今後の展



望」を開催。まちづくり論と土地経済学を専門とする経済学者の同氏は、日本および世界の今後の経済予測を踏まえながら、大震災後の東北地方のコミュニティ再生の方策を示されました。また、リアルオプション理論をベースにした柔軟かつフレキシビリティに富んだ会社経営のすすめにも話題がおよぶなど、経営者の集う会として聞き応えのある講演会となりました。

■久木田新部会長あいさつ



久木田新部会長は「青年部会として私が考えているのは『出る杭になれ』ということだ。もちろん、青年部

会は全特協内の組織だから制約はあるが、協会の中で有意義な意見をどんどん発信できる部会にしたい。そして、

全特協の運営の柱になるような部会にしていきたい」と抱負を述べた。



▲今後の東北地方および日本はどうなっていくのか? をテーマにした足立氏の講演

■平成22年度 青年部会 運営委員、特別顧問および顧問名簿

役職	氏名	勤務先・役職名	役職	氏名	勤務先・役職名
	石田 晶敬	石田特殊鋼(株) 取締役		森 晋吾	豫州短板産業(株) 代表取締役社長
	永田 友康	永田鋼材(株) 代表取締役社長	副部会長	八木 栄治	(株)白銅 常務取締役
副部会長	川北 誠	川北特殊鋼(株) 代表取締役		保田 憲秀	トクホウ精鋼(株) 取締役社長室長
副部会長	木村 貴俊	深江特殊鋼(株) 常務取締役		保田 嘉嗣	保田特殊鋼(株) 代表取締役
部会長	久木田 至	櫻井鋼鉄(株) 代表取締役社長		山田 雅郎	(株)ヤマコー 代表取締役
	桑原 将敏	貝坂特殊鋼(株) 代表取締役		横山 大	(株)横山鋼業 代表取締役
副部会長	五味潤 努	五味潤鋼鉄 代表取締役		岩井 大昌	巴鋼鉄(株) 専務取締役
	近藤 泰幸	(資)近藤ハガネ商店 代表		林田 彰司	林田特殊鋼材(株) 代表取締役
副部会長	櫻井 透	櫻井鋼鉄(株) 代表取締役副社長	顧問	木村 雅昭	深江特殊鋼(株) 取締役副社長
	佐橋健一郎	サハシ特殊鋼(株) 代表取締役	顧問	堀田 靖	(株)堀田ハガネ 代表取締役社長
	澤津橋聖司	(株)司鋼商会 代表取締役	顧問	松岳 大樹	(株)トーキョー 代表取締役
	鈴木 至典	(株)鈴木機械 代表取締役	顧問	宮内 保	小山鋼材(株) 代表取締役
副部会長	田嶋 直	(株)鉄鋼社 代表取締役社長	顧問	濱田 訓通	(有)浜田ハガネ店 代表取締役
	出口 弘親	スチールテックデグチ(株) 代表取締役	顧問	山村 弥	山鋼精機(株) 代表取締役
副部会長	中島 伸夫	中島特殊鋼(株) 専務取締役	顧問	碓井 達郎	碓井鋼材(株) 代表取締役
副部会長	樋口 威彦	(株)天彦産業 取締役	特別顧問	竹内 誠二	(社)全特協 会長
	樋田 浩三	(株)三悦 代表取締役	特別顧問	樋口 克彦	副会長
	福岡 敬司	(株)福岡ハガネ商店 代表取締役	特別顧問	佐久間貞介	副会長
副部会長	藤田 剛義	藤田商事(株) 専務取締役	特別顧問	桑原 克己	専務理事
副部会長	古池 晃	古池鋼業(株) 代表取締役			

理事会・委員会報告

第36回理事会

日時：平成23年3月29日 14:20～15:20 於：鉄鋼会館
内容：1. 議案
第1号議案 平成23年度事業計画書(案)及び同年度収支予算書(案)承認の件
第2号議案 第4次中期計画(案)承認の件
第3号議案 一般社団法人への移行(案)承認の件
第4号議案 特殊鋼販売技士研修制度及び特殊鋼販売加工技士研修制度の改訂(案)承認の件
第5号議案 会員の入会承認の件(退会は報告事項)
その他 義援金募集(案)及びお見舞金(案)の承認について
2. 報告事項：委員会報告、事務局報告、第15回定時総会

第37回理事会

日時：平成23年5月13日 15:00～16:00 於：鉄鋼会館
内容：1. 議案
第1号議案 平成22年度事業報告書(案)及び収支決算書(案)承認の件
第2号議案 平成23年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)変更承認の件
第3号議案 東北地方太平洋沖地震義援金及び被災された正会員への見舞金提供承認の件
2. 報告事項：委員会報告、第15回定時総会、クールビズ実施のお願い

第59回運営委員会

日時：平成23年3月29日 12:00～14:00 於：鉄鋼会館
内容：1. 審議事項：(第36回理事会・議案に同じ)
2. 報告事項：(〃に同じ)

第60回運営委員会

日時：平成23年5月13日 12:30～14:30 於：鉄鋼会館
内容：1. 審議事項：(第37回理事会・議案に同じ)
2. 報告事項：(〃に同じ)

第42回総務委員会

日時：平成23年3月25日 12:00～14:00 於：鉄鋼会館
内容：1. 審議事項：(第36回理事会・議案に同じ)
2. 報告事項：(〃に同じ)

第43回総務委員会

日時：平成23年5月12日 12:00～14:00 於：鉄鋼会館
内容：1. 審議事項：(第37回理事会・議案に同じ)
2. 報告事項：(〃に同じ)

第33回内外交流委員会

日時：平成23年3月8日 12:00～14:00 於：安保ホール
内容：1. 平成22年度事業実績及び収支実績見込み
2. 成23年度事業計画(案)及び予算(案)について(含海外研修先選定)
3. 第4次中期計画(案)について

第38回人材育成委員会

日時：平成23年6月28日 15:00～17:00 於：安保ホール
内容：1. 特殊鋼販売技士制度について
2. 公益目的支出計画について

人材育成委員会

特殊鋼販売技士検定試験委員会

日時：平成23年4月6日 12:00～14:00 於：安保ホール
内容：1. 平成22年度1級検定試験の合否判定
2. 講師講評

日時：平成23年4月20日 15:00～17:00 於：鉄鋼会館
内容：1. 平成23年度3級研修講座の講師事前打合せ
2. 特殊鋼販売技士研修制度の変更点説明

日時：平成23年6月8日 15:00～17:00 於：安保ホール
内容：1. 特殊鋼販売技士3級検定試験の試験問題概要について

人材育成委員会/特殊鋼販売技士検定試験委員会 第3回指導要領作成ワーキンググループ

日時：平成23年4月8日 12:00～14:00 於：安保ホール
内容：1. 「指導要領」の位置付け
2. 3級パソコン内容の検証・討議
3. 特殊鋼販売技士3級研修講座への「指導要領」「パソコン資料」の展開について

人材育成委員会/特殊鋼販売技士検定試験委員会 第4回指導要領作成ワーキンググループ

日時：平成23年6月2日 14:00～17:20 於：安保ホール
内容：1. 3級パソコン内容の一部改善について
2. 特殊鋼販売技士2級研修講座への「指導要領」「パソコン資料」の展開について

第42回調査研究委員会

日時：平成23年3月3日 12:00～14:00 於：安保ホール
内容：1. 第56回(10-12月)景況アンケート及び第9回経営環境等に関するアンケート調査報告
2. 第57回(1-3月)景況アンケートの設問について
3. 平成22年度事業実績及び収支実績見込みについて
4. 平成23年度事業計画(案)及び予算(案)について
5. 第4次中期計画(案)
6. 公益目的支出計画に係る実施事業等の対象事業としての調査及び研究に係る講演会等

第43回調査研究委員会

日時：平成23年6月22日 14:00～17:00 於：鉄鋼会館
内容：1. 第57回(1-3月)景況アンケート調査報告
2. 第58回(4-6月)景況アンケートの設問について
3. 平成23年度事業計画(案)及び予算(案)について
4. 特殊鋼流通環境の変化に対する特別調査について
5. 公益目的支出計画に係る実施事業について

第19回経営効率化委員会

日時：平成23年5月25日 12:00～14:00 於：鉄鋼会館
内容：1. 平成22年度事業実績及び収支実績報告
2. 平成23年度事業計画及び予算案について
3. 共通通い箱「おかよちゃん」事業の廃止及び滞留在庫品の精算について
4. 技能講習会等の検討について
5. 第4次中期計画(公益目的支出計画に係る実施事業等)について

第11回青年部会総会

日時：平成23年6月17日 15:00～15:30 於：ヒルトン大阪
内容：1. 議案
第1号議案 平成22年度事業報告及び収支報告承認の件
第2号議案 平成23年度事業計画(案)及び収支予算(案)変更承認の件
第3号議案 運営委員の選任(案)承認の件

事務局だより

1 「法律無料相談窓口」(何でも相談窓口)を気楽にご利用下さい(経営効率化委員会)

当協会の理事である飯田理事の飯田法律事務所と法律顧問契約を結び、会員の皆様を対象に「法律無料相談窓口」を開設しております。皆様の身近な諸問題についても無料で受けられます。

一般社員の皆様のプライベートな問題も相談可能です。

・飯田法律事務所：Tel 03-3666-3838(窓口：高橋氏) ・電話でのご相談は無料です。

①全特協「法律無料相談窓口」を利用したい旨をお伝え下さい。②「全特協の所属支部と会社名」をお伝え下さい。

③相談内容を簡単にまとめてお伝え下さい。④弁護士の先生と直接具体的な相談を始めてください。

・現在お住まいの地区の弁護士事務所の紹介も可能。 ・相談内容は守秘義務があり、いずれにも報告されません。

2 JISハンドブック及び定期刊行物購入斡旋のお知らせ

日本規格協会発行の「JISハンドブック」及び定期刊行物の購入斡旋を継続しております。是非ご利用下さい。お問い合わせは、事務局までお電話下さい。(Tel：03-3669-5803)

3 共通通い箱・鉄網製「おかよちゃん」について(経営効率化委員会)

当協会の経営効率化委員会において当事業の廃止を決定しました。それに伴って滞留在庫品の販売も完了しました。会員のご協力に感謝いたします。今後は特注の「おかよちゃん」は廃止となりましたが標準品(大・中)につきましては直接メーカーの方へお問合せ・お取引していただくことになりました。(メーカー：(株)ティモア 坪谷 Tel：06-6961-5171)

4 平成24年経済センサス調査活動の実施について(総務省・経済産業省)

平成24年2月1日現在で、全国すべての事業所・企業を対象に、経済の国勢調査が実施されます。正確な調査を実施するため、調査票の送付に先立ち、6月中旬から支社等を有する企業本社宛に「事業所等確認表」が郵送されますので、調査の趣旨・必要性をご理解いただき、ご返送をお願いします。

5 「北欧(スウェーデン)特殊鋼関連業界視察研修」申込み締切間近！(内外交流委員会)

当協会では昨年に引き続き、海外視察研修を実施します。詳細はかねてよりご案内しているとおりでありますが、募集の締切が8月1日(月)となっております。参加希望の方はご注意ください。

6 平成23年5月9日付で事務局・業務部長に伊藤龍也氏が就任し、6月30日付で鈴木雅博氏が退任しました。



伊藤 龍也(いとう たつや)

【略歴】

1972年4月	日本特殊鋼(株)入社 (1976年3社合併により大同特殊鋼に)	2005年	大同アミスター(株)取締役大阪工場長
1989年	大同特殊鋼(株)販売第二部係長	2008年	天文大同(広州)特殊鋼有限公司董事総経理
1990年	大同熟練加工(株)東京営業所長 (1996年大同PDMとの合併により大同アミスターに)	【趣味】	ゴルフ、旅行

編集後記

今号は東日本大震災発生以降初めての発行になります。

大震災で被災された会員の皆さま方、またご家族・ご親戚の皆様方に心からお見舞い申し上げます。さて、今回の「すてい〜る」は本部の定時総会並びに各支部定時総会の記事が特集されています。被災された東北支部でも予定通り総会が開催されましたことをご喜び申し上げます。東北支部・横山支部長の写真から復興への力強い意思を感じて

います。一日でも早く通常業務に復帰されることをお祈り申し上げます。当協会からの義援金は竹内会長から日本赤十字社へ直接手渡しされています。会員皆さまのご協力に深く感謝申し上げます。これからも、「すてい〜る」の中で東北支部の復興を伝える記事・特集を企画したいと思っています。

広報委員会委員長・広報誌発行責任者／福原實晴